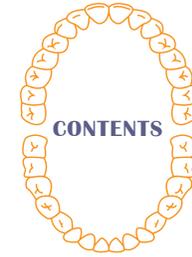


東京医科歯科大学 歯学部附属病院通信

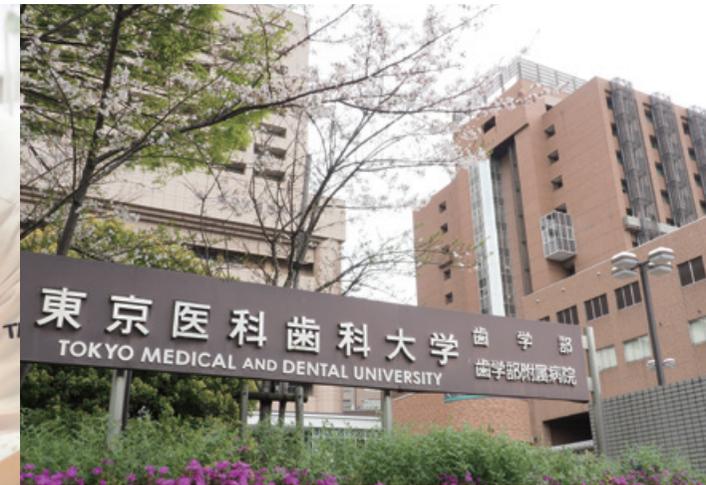
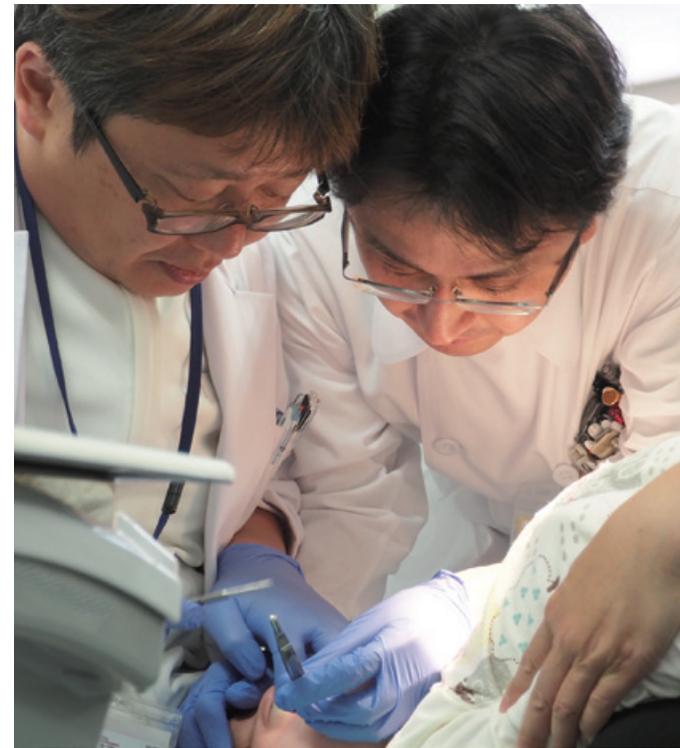
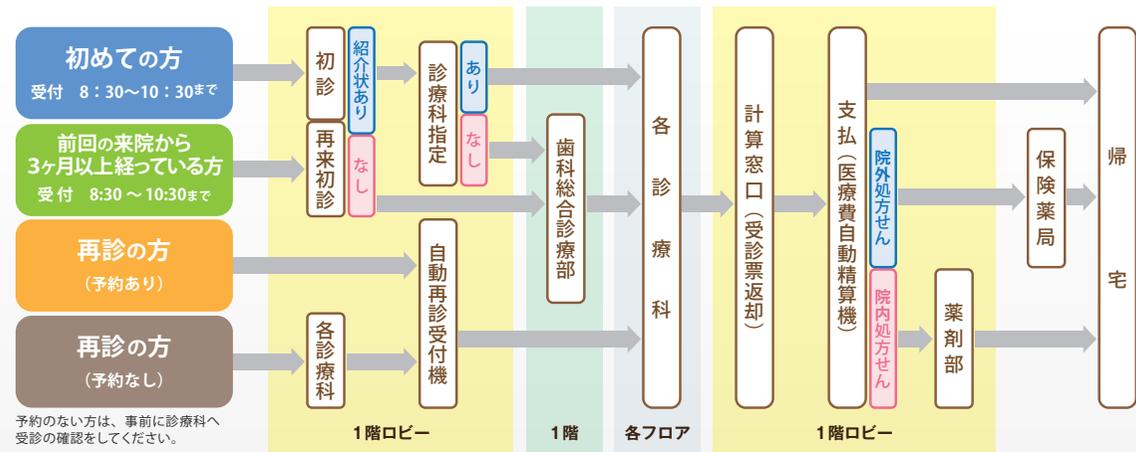


CONTENTS
矯正歯科外来について
顎口腔変形疾患外来について
診療科のご案内
受診のご案内

診療科案内

階	診療科名	診療科名
8	歯科病棟	
7	インプラント外来	歯科麻酔外来
6	口腔外科外来 (専)顎口腔変形疾患外来	顎義歯外来 言語治療外来
	検査部	
5	むし歯外来	歯周病外来
4	歯科心身医療外来	第1総合診療室
	快眠歯科(いびき無呼吸)外来(初診受付) 先端歯科診療センター	第2総合診療室
3	義歯外来	歯科アレルギー外来(月・水 am・木)
	クリーンルーム歯科外来	スポーツ歯科外来(火・水 pm・金)
	顎関節治療部	快眠歯科(いびき無呼吸)外来
2	矯正歯科外来	ペインクリニック
	小児歯科外来	口腔ケア外来
1	歯科総合診療部	スペシャルケア外来(診療室1)
	息さわやか外来(月・木)	スペシャルケア外来(診療室2)
	摂食嚥下リハビリテーション外来	薬剤部
	業務課患者係	業務課収入係
B1	歯科放射線外来(レントゲン、CT、MRI)	

受診のご案内



ご来院の皆様へ

本院は大学附属病院であることから、理念として「優れた医療人の育成に努め、患者さん一人ひとりにあった最高水準の歯科医療を提供します。」を掲げています。すなわち、良質で安全な歯科医療を提供するだけでなく、教育病院として将来の歯科医療を担う優れた医療人を育成すること、先端的歯科医療のための臨床研究、各種治療を推進することも本院の重要な使命です。

代表電話番号 03-3813-6111 (歯学部附属病院とお伝えください)
診療日 月～金 初診受付 8:30～10:30
休診日 土、日、祝日と年末年始(12月29日～1月3日)

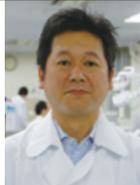


東京医科歯科大学歯学部附属病院
〒113-8549 東京都文京区湯島 1-5-45

編集発行: 東京医科歯科大学歯学部附属病院 地域歯科医療連携センター広報誌編集委員会 総合診療科講師 磯波 健一/看護部副看護師長 長浦 真由美
歯科衛生保健部 宮本 洋子/業務課 大秋智美/広報部非常勤講師 宇山恵子(撮影)/デザイン SOYA



矯正歯科外来について



外来医長 東堀 紀尚 助教 Norihisa Higashihori

■子供から大人まで歯ならびや咬みあわせの不正を治療します

矯正歯科外来では、小児から成人までの幅広い年齢層の患者さんを対象に、一般的な歯ならび・咬みあわせの異常から、顎の骨格的な変形、歯周病、歯の欠損等を伴う不正咬合まで、多岐にわたる治療を行っています。治療を開始する際には、検査結果に対する詳細な分析を行った後に、主任教授による診断を経ることで、最新の治療法による最適な診療を提供します。さらに治療内容に関しては、臨床グループによる症例検討を定期的に行うことで、診療の質の向上と維持に努めています。矯正歯科治療の対象となるのは、叢生(乱ぐい歯)・上顎前突(出っ歯)・反対咬合(うけ口)・開咬(咬みあわない)・空隙歯列(すきっ歯)、さらには顎変形症(顎の手術が必要)や唇顎口蓋裂(口唇裂・口蓋裂)などの先天性疾患にも対応しています。大部分の患者さんの治療費は私費(保険適用外)となっていますが、顎変形症と一部の先天性疾患(唇顎口蓋裂ほか)には保険が適用されます。

■さまざまな専門診療科と連携して包括的な治療を行います

大学病院の特徴を生かし、むし歯外来・歯周病外来・義歯外来・口腔外科外来などの他科専門歯科さらには、併設の医学部附属病院の専門診療科との連携を行うことにより、ほかでは受診することが難しい包括的な治療を受けることが可能です。「あごが出ている」「曲がっている」などの形態的な問題でお困りの、矯正歯科治療だけでは改善が困難な骨格性不正咬合(顎変形症)の患者さんに対しては、外科的矯正治療を行い、形態的な改善のみならず機能的な改善も行っております。当科ではそのような難しい症例についても、多数の良好な結果を得ております。

●診療案内

初診：月～金曜日 9:00～10:30
再診：月～金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00 (最終予約15:30)
再診は原則として予約制です。
予約・問い合わせ電話番号：
03-5803-5752、5753 (月～金曜日 9:00～16:00)



歯と健康の豆知識

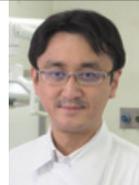
矯正歯科外来

Q 矯正治療の痛みや平均的な治療期間について教えてください。

装置の装着や調整のあとに、歯が浮いた感じや固いものが咬みにくい感じがします。また、痛いと感じる場合もありますが、通常2～4日程度でおさまる方が多いです。痛みの程度はさまざまで違和感や痛みのない人もいます。新しい装置の開発により、以前より痛みなどの不快症状は軽減されてきています。矯正歯科治療は顎の大きさや位置を変えたり、顎の骨の中にある歯を動かしたりするため、ある程度の年数を要します。治療期間は一般的に1～5年程度の場合が多いですが、それ以上の長期を要する場合もあります。



顎口腔変形疾患外来について



外来医長 森田 圭一 助教 Keiichi Morita



■重度の顎や口腔内の変形・先天性疾患などの治療を行います

顎口腔変形疾患外来では、口唇裂・口蓋裂をはじめとする、生まれつき顎口腔領域に問題が生じるような先天性疾患や、顎の手術が必要となる重度の顎の変形(顎変形症)などの治療を行います。具体的には、唇顎口蓋裂、顎変形症、ダウン症候群、鎖骨・頭蓋異形成、ゴールデンハー症候群(鰐弓異常症含む)、ベックウィズ・ヴィードマン症候群、頭蓋骨癒合症などです。

■各専門診療科と合同で患者さんと寄り添いながら不安を和らげます

各専門診療科(矯正歯科外来、口腔外科外来、小児歯科外来、顎義歯外来、言語治療外来、インプラント外来など)によるチーム医療を実践することで、子供から大人まで高度で統合的な診療を行い、患者さん一人一人の心に寄り添い、苦しみや不安を少しでも和らげられるように、複数のエキスパートがチームとなって合同カンファレンスを行い、多角的に治療方針を検討しながら、診療をトータルに進めていきます。

■顎口腔変形疾患外来の特徴について

当外来には次の3つの特徴があります。

- 高度な知識と技術を持った歯科医師が、治療を担当します。
- 「顎口腔成長発育疾患」に関係する全ての診療科の経験豊富な歯科医師が集まり、患者さんの症状に合わせてきめ細かい治療を行います。
- トータルケアを行うため、従来のように多くの科を受診する必要がなく、患者さんの負担が少なくなります。

●診療案内

受診予約：まずは電話で予約を取ってください。
予約・問い合わせ電話番号：03-5803-4362 (月～金曜日 9:00～17:00)



歯と健康の豆知識

顎口腔変形疾患外来

Q 顎口腔変形疾患外来で公的保険が適用されるのはどんな病気ですか？

当外来を受診して検査結果を見た上で、口唇・口蓋裂をはじめとする先天性疾患や、重度の顎の変形による咬みあわせの異常と診断された場合は、外科手術および矯正治療に関して公的保険が適用されます。当外来は、多くの臨床経験に基づく豊富な専門知識と治療技術によって、顔貌を含めた咬みあわせの改善に努めるべく、患者さんに最適な治療法を選択し、高度なトータルケアを行います。

